

つながる元気、ときめきキャンパス。



自然科学研究機構岡崎生活協同組合

# 25年のあゆみ

2026年5月26日通常総会資料 創立25周年に寄せて



# 「25年のあゆみ」 発刊にあたって

自然科学研究機構岡崎生協（創立時の名称は岡崎国立共同研究機構生協）は、本年2026年度に創立25周年を迎えることとなりました。

これもひとえに、出資・利用・運営参加を通じて生協を支えてくださった組合員の皆様、そして3研究所・事務センターの関係者の皆様の多大なるご協力とご支援の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。また、福利厚生の実現を掲げ、本生協の礎を築かれた発起人の皆様の先見の明とご尽力に、改めて心からの敬意を表します。

この5年間を振り返ると、コロナ禍からの回復途上に加え、昨今の不安定な社会情勢や物価高騰の影響により、組合員の皆様の生活も、生協の経営も厳しさを増してきました。

そのような状況下であっても、組合員の皆様の変わらぬご支援に支えられ、スタッフ・理事会が一丸となって様々な工夫と改善を積み重ねることで、事業を継続することができました。

また2024年には、新たな組合員ニーズに応えるべく職員会館の購買店舗をリニューアルオープンし、利便性向上とサービス拡充に向けた大きな一歩を踏み出しました。

この新店舗の開設は、生協がこれからも研究所の皆様の生活を支える存在であり続けるための重要な取り組みであり、25周年という節目につながる前進となりました。



25年という節目は、これまでの歩みを振り返ると同時に、次の10年を見据える重要なタイミングでもあります。社会や研究所を取り巻く環境は今後も大きく変化していくことが予想されますが、私たちは「岡崎の研究所に生協があつてよかった」と組合員の皆様に感じていただける存在であり続けるため、事業の質向上と経営基盤の強化に引き続き取り組んでまいります。

四半世紀にわたるご支援に改めて御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご愛顧・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年5月  
自然科学研究機構岡崎生活協同組合 理事会

# 設立趣意書

岡崎国立共同研究機構生活協同組合(略称:岡機構生協)は快適なキャンパス生活を希求する多くの教職員・院生の手によって消費生活協同組合法による法人として創立をめざしております。

岡崎国立共同研究機構を構成する分子科学研究所、生理学研究所、基礎生物学研究所の多くの教職員・院生は全国の大学から岡崎の地に研究の場を求めて集まっております。

各自の前任所には大学生協が設置されているところが多く、ここ岡崎共同研究機構に大学生協が無いことに不便を感じつつも日々を過ごしてきておりました。

ここ数年、岡機構周辺では書店が次々と閉店し自分たちの欲しい書籍雑誌が手に入りにくくなったと感じた有志が1998年11月より岡機構生協設立の可能性を検討しはじめました。岡機構は定員470名と一般の大学に比べて非常に小規模であり、人員流動性も高いため当初は設立を危ぶまれましたが詳細な検討の結果、設立可能であるとの見通しが立ち、1999年4月に大学生協東海地域センターにコンタクトを取り設立プロジェクトチームが発足しました。

1999年7月には、電子メールを活用し、設立準備会の結成を呼びかけ同月、結成されました。同年、9月に発起人会が発足いたしました。

岡機構生協が目指すものは組合員による民主的な運営によって、相互の経済的・文化的生活を向上させ、ひいては研究所における研究と教育の使命をより良く果たそうとするところにあります。

私たち発起人は多くの皆さんが上述の趣旨に賛同され、すすんで岡機構生協の設立に参加し、設立後には利用されますよう心から期待いたします。

## 岡崎国立共同研究機構生活協同組合設立発起人会

青柳 睦	大隅 良典	岡本 祐幸	小幡 邦彦	加藤 清則
児玉 顕一	坂谷 智也	定藤 規弘	杉田 有治	高橋 卓也
坪内 雅明	長島 剛宏	永山 國昭	西川 武志	服部 宏之
平田 文男	光武 亜代理	武藤 哲司	諸橋 憲一郎	和田 春美
渡邊 栄治	渡辺 正勝	渡辺 芳人		

# 自然科学研究機構岡崎生協について

## 概要

名称	自然科学研究機構岡崎生活協同組合
本部所在地	〒444-0867 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38
設立年	2001年4月11日（法人化）
組合員数	401名（2025年2月28日時点）
出資金	4,875,000円（2025年2月28日時点）
総事業高	1億3,942万円（2025年度実績）
常勤役員	理事長 中山 潤一 専務理事 竹村 浩昌 代表理事 山本 昌也
事業所	職員会館店・山手店
職員数	正規職員1名・定時職員5名



## 職員会館店<明大寺地区>

### 所在地

職員会館1F

### 取扱商品・サービス

食品（お弁当・お菓子・ドリンク）、文具、日用品、サプライ品、情報機器（PC等）、公費受付、修理等受付、本部

### 営業時間

有人営業：平日11:00～17:00

無人営業：平日7:00～11:00 / 17:00～22:00



## 山手店<山手地区>

### 所在地

山手3号館1F

### 取扱商品・サービス

食品（お弁当・お菓子・ドリンク）、文具、日用品

### 営業時間

有人営業：平日11:00～13:30

無人営業：上記以外すべての時間

# 生協のあゆみ (1996～2006)

1999年3月	生協設立に必要な手続きの事前調査 (西川)
1999年6～7月	生協設立に関する学内合意
1999年7月1日	設立準備会名で生協設立のよびかけを機構全員にメール送信
1999年9月1日	発起人会発足
1999年12月	店舗設置場所が現在の職員会館2階に決定
2000年7月1日	機構構成員にあらためて設立の賛同を募集
2000年10月10日	生協発起人会から伊藤機構長に生協設立の願いを提出
2000年10月12日	生協設立の賛同者が機構構成員の過半数を超える
2000年11月21日	機構連絡会議で施設の生協への無償貸与が承認される
2000年11月24日	賛同者署名の集約開始
2000年12月22日	創立総会 計算科学研究センター2階大会議室にて開催
2001年1月9日	第一回理事会で理事長に小幡理事 (生理研教授) 専務理事に諸橋理事 (基生研教授) を互選
2001年3月1日	生協職員会館店オープン
2001年3月22日	生協創立記念パーティ開催
2001年3月15日	愛知県より設立認可
2001年4月11日	法人化
2001年5月21日	第一回ユーザー懇談会
2002年4月	和書インターネットサービス「本やタウン」を開始
2002年10月	切手、年賀状の取扱開始
2003年5月29日	理事長を小幡理事 (生理研教授) から大隅理事 (基生研教授) へ交代 専従専務理事制に移行
2003年6月	職員会館店の営業時間を17時までに1時間延長
2004年5月6日	生協山手店がオープン
2004年5月27日	定款変更 名称を「自然科学研究機構岡崎生活協同組合」に
2004年10月16日	一般公開 (基生研) に初めて参加 先生方の著書販売
2004年10月21日	生協のホームページを開設、アマゾン洋書サービスも開始
2005年8月より	マイバッグ普及キャンペーンを開始
2006年3月	新幹線回数券取り扱いの中止
2006年4月21日	牛乳販売を開始
2006年5月	音楽ソフト注文ネットサービスmusic online shopping開始
2006年11月	11月から音楽ソフト15%引に変更
2006年10月	レシートによる利用高割戻し(3%)実施 114名で利用額は140万円



# 生協のあゆみ (2007～2015)

2007年	山手店をラウンジに移設
2007年11月16日	山手店の営業時間を1時間延長
2008年6月	レジ袋を有料化した結果、袋の利用を1割以下に削減
2008年4月と10月	組合員利用割戻(5%割戻)を行い生協加入を呼びかけ
2008年9月	理事長を大隅理事(基生研教授)から岡本理事(分子研教授)へ交代
2009年11月12・13日	情報機器展示会に115名の来場者
2009年10月5日	利用者懇談会を開催し、24名の参加で活発な討論
2010年5月	専務理事を野村理事から加藤理事に交代
2010年11月	全国大学生協連「院生生活実態調査」を実施
2011年3月末	山手地区の冷凍食品自販機を利用減で撤収
2011年4月	東日本大震災義援募金を行い217,933円を寄付
2011年5月25日	生協創立10周年を記念して祝賀会を開催
2011年12月	AppleのiPad展示を開始
2012年1月	福袋を新春にはじめて販売
2012年5月	理事長を岡本理事(分子研教授)から南部理事(生理研教授)へ交代
2012年7月6日	機構(岡崎3研究所)と災害時相互協力協定を締結
2013年4月	山手店の営業開始時間を11時30分から11時に繰り上げ
2015年12月1日	加藤専務が辞任して高田理事(基生研教授)が専務理事に就任 常勤役員を置かず、事業連合の支援による経営再建をスタート



↑ iPadの展示展開を開始



↑ 新春福袋の販売



↑ 情報機器展示会を実施



# 生協のあゆみ (2016～2021)

2016年10月	ノーベル生理学賞受賞が決まった大隅先生（元理事長）に生協として祝電
2018年7月23日	初めて松河屋和菓子の販売 大好評
2018年8月1日	校費システム運用開始。公費伝票がシステム出力に。
2018年9月	御用聞きシステム本格展開
2019年5月	理事長を南部理事（生理研教授）から高田理事（基生研教授）へ交代
2019年11月	書籍15%セールを秋も開催（オータムセール）
2020年7月16日	理事会でコロナウィルス感染症対策を議論。閉店した他の大学生協の菓子を処分販売。
2021年1月12日	分子研共同利用者控室での無人店舗販売開始
2021年4月	組合員証ICカード化
2021年5月9日	山手店での無人時間帯の営業を開始
2021年9月7日	三島ロッジでの無人店舗販売開始
2021年10月	職員会館店カウンター入替（レイアウトの変更）
2022年4月1日	公費新システム稼働開始



↑ 一般公開での生協ブース



↑ 松河屋和菓子即売会



↑ 山手店無人店舗オープン



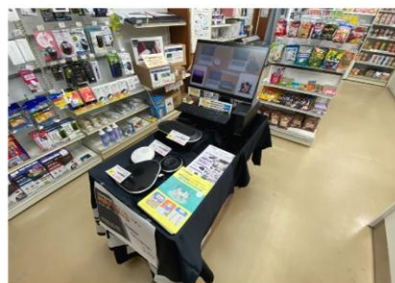
↑ 山手店での冷凍食品販売



↑ IC組合員証の導入



↑ 職員会館カウンター入替



↑ 店内機器展示会の様子



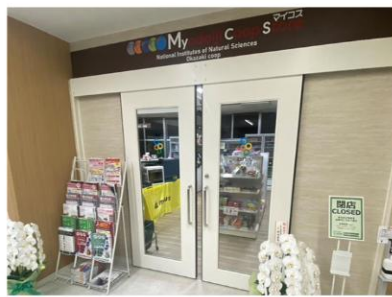
↑ 三島ロッジ無人販売所

# 生協のあゆみ (2022~2025)

- 2022年5月 理事長を高田理事（基生研教授）から石崎理事（分子研教授）へ交代  
第1期中期計画(2022年度~2024年度)運用開始
- 2023年1月 新システムNR-G導入  
レジの入替と同時に大学生協アプリでの決済がスタート
- 2023年10月2日 御用聞きシステムからWeb見積もりサービスへシステム変更
- 2024年1月 公募により新店舗の名称がMycosに決定
- 2024年2月19日 職員会館店が1階へ移転。Mycosとしてリニューアルオープン  
店内パイプカーテンの設置により、無人時間帯の営業を開始  
コーヒーマシン・給茶機を設置
- 2025年2月 物品購買Webサービス開始。AmazonBusinessと連携
- 2025年4月1日 名古屋大学生協で製造している冷凍弁当の販売を開始
- 2025年4月 HDSR(需要予測型自動発注システム)導入
- 2025年5月 理事長を石崎理事（分子研教授）から中山理事（基生研教授）へ交代  
第2期中期計画(2025年度~2027年度)運用開始



↑ 公募で決定した店の愛称



↑ 新店舗の入り口



↑ 名大生協の冷凍弁当を販売



↑ パイプカーテンで無人営業が可能



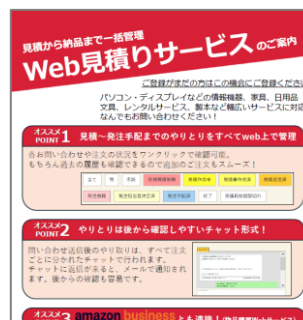
↑ 挽き立てコーヒーが人気



↑ 大学生協アプリ



↑ 新店舗全景



↑ 公費利用を便利にするWebサービスの導入



# 自然科学研究機構岡崎生協 歴代役員名簿

## 設立発起人

代表	平田 文男					
発起人	青柳 睦	大隅 良典	岡本 祐幸	小幡 邦彦	加藤 清則	児玉 顕一
	坂谷 智也	定藤 規弘	杉田 有治	高橋 卓也	坪内 雅明	長島 剛宏
	永山 國昭	西川 武志	服部 宏之	光武 亜代理	武藤 哲司	諸橋 憲一郎
	和田 春美	渡邊 栄治	渡邊 正勝	渡辺 芳人		

## 歴代理事・監事

年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
理事長	小幡 邦彦	小幡 邦彦	大隅 良典	大隅 良典	大隅 良典
専務理事	諸橋 憲一郎	諸橋 憲一郎	野村 林太郎	野村 林太郎	野村 林太郎
代表理事					
代表理事					
理事	大隅 良典	大隅 良典	加藤 清則	諸橋 憲一郎	諸橋 憲一郎
	加藤 清則	加藤 清則	定藤 規弘	永山 國昭	永山 國昭
	永山 國昭	永山 國昭	永山 國昭	定藤 規弘	定藤 規弘
	平田 文男	平田 文男	坂谷 智也	秋田 素子	秋田 素子
	野村 林太郎	定藤 規弘	岡本 裕己	平田 文男	平田 文男
		園田 秀久	諸橋 憲一郎	岡本 裕己	岡本 裕己
		坂谷 智也	園田 秀久	加藤 清則	加藤 清則
		野村 林太郎	平田 文男	園田 秀久	園田 秀久
監事	西川 武志	西川 武志	岡本 祐幸	岡本 祐幸	永田 央
	岡本 祐幸	岡本 祐幸	矢野 隆行	矢野 隆行	矢野 隆行
			森 将浩	森 将浩	森 将浩
			吉国 通庸	吉国 通庸	吉国 通庸
			横井 益男	柳野 友栄	杉浦 鈴代
店長					

年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
理事長	大隅 良典	大隅 良典	大隅 良典	岡本 裕巳	岡本 裕巳
専務理事	野村 林太郎	野村 林太郎	野村 林太郎	野村 林太郎	加藤 肇
代表理事					
代表理事					
理事	諸橋 憲一郎	長谷部 光泰	長谷部 光泰	藤森 俊彦	藤森 俊彦
	永山 國昭	永山 國昭	永山 國昭	長谷部 光泰	長谷部 光泰
	定藤 規弘	南部 篤	南部 篤	永山 國昭	永山 國昭
	佐藤 千恵	佐藤 千恵	佐藤 千恵	南部 篤	南部 篤
	平田 文男	平田 文男	平田 文男	佐藤 千恵	佐藤 千恵
	岡本 裕巳	岡本 裕巳	岡本 裕巳	平田 文男	平田 文男
	加藤 清則	加藤 清則	鈴木 光一	鈴木 光一	鈴木 光一
	園田 秀久	園田 秀久	園田 秀久	園田 秀久	園田 秀久
監事	永田 央	永田 央	永田 央	永田 央	永田 央
	矢野 隆行	矢野 隆行	矢野 隆行	矢野 隆行	矢野 隆行
	森 将浩	森 将浩	森 将浩	森 将浩	森 将浩
	吉国 通庸	古川 和彦	古川 和彦	古川 和彦	古川 和彦
	杉浦 鈴代	杉浦 鈴代	中村 堅一	中村 堅一	中村 堅一
店長					

年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
理事長	岡本 裕巳	南部 篤	南部 篤	南部 篤	南部 篤
専務理事	加藤 肇	加藤 肇	加藤 肇	加藤 肇	加藤 肇
代表理事					高田 慎治
代表理事					山本 昌也
理事	藤森 俊彦	藤森 俊彦	藤森 俊彦	藤森 俊彦	栄 雄大
	長谷部 光泰	篠原 秀文	篠原 秀文	小林 弘子	窪田 芳之
	永山 國昭	窪田 芳之	窪田 芳之	栄 雄大	山本 浩史
	南部 篤	西尾 奈々	岡澤 剛起	窪田 芳之	近藤 美欧
	佐藤 千恵	岡本 裕巳	岡本 裕巳	山本 浩史	鈴木 光一
	平田 文男	近藤 美欧	近藤 美欧	近藤 美欧	大川 純
	鈴木 光一	鈴木 光一	鈴木 光一	鈴木 光一	
	園田 秀久	園田 秀久	大川 純	大川 純	
監事	永田 央	永田 央	奥村 久士	奥村 久士	奥村 久士
	矢野 隆行	矢野 隆行	榎根 一夫	榎根 一夫	榎根 一夫
	森 将浩	森 将浩	矢野 隆行	矢野 隆行	長屋 貴量
	古川 和彦	古川 和彦	森 将浩	森 将浩	山本 友美
	中村 堅一	中村 堅一	中村 堅一	中村 堅一	中村 堅一
店長					

年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
理事長	南部 篤	南部 篤	南部 篤	高田 慎治	高田 慎治
専務理事	高田 慎治	高田 慎治	高田 慎治	石崎 章仁	石崎 章仁
代表理事	坂本 聡	坂本 聡	奥 勝也	奥 勝也	白取 義之
代表理事	山本 昌也				
理事	窪田 芳之	窪田 芳之	窪田 芳之	窪田 芳之	窪田 芳之
	山本 浩史	山本 浩史	山本 浩史	山本 浩史	山本 浩史
	平野 高大	平野 高大	平野 高大	後藤 崇支	後藤 崇支
	近藤 美欧	近藤 美欧	近藤 美欧	南部 篤	南部 篤
	鈴木 光一	石崎章仁	石崎章仁	草本 哲郎	草本 哲郎
	大川 純	大川 純	大川 純	大川 純	大川 純
		奥 勝也	坂本 聡	坂本 聡	坂本 聡
監事	奥村 久士	奥村 久士	奥村 久士	奥村 久士	奥村 久士
	榎根 一夫	榎根 一夫	榎根 一夫	榎根 一夫	榎根 一夫
	長屋 貴量	長屋 貴量	長屋 貴量	長屋 貴量	長屋 貴量
	山本 友美	山本 友美	山本 友美	山本 友美	山本 友美
	中村 堅一	中村 堅一	岸上 悟	岸上 悟	岸上 悟
店長	豊田泰陳	豊田泰陳	岩田 千聖	岩田 千聖	岩田 千聖

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
理事長	高田 慎治	石崎 章仁	石崎 章仁	石崎 章仁	中山 潤一
専務理事	石崎 章仁	窪田 芳之	窪田 芳之	窪田 芳之	竹村 浩昌
代表理事	坂本 聡	坂本 聡	坂本 聡	山本 昌也	山本 昌也
代表理事					
理事	窪田 芳之	高田 慎治	中山 潤一	中山 潤一	榎木 亮介
	山本 浩史	山本 浩史	解良 聡	解良 聡	解良 聡
	後藤 崇支	後藤 航	瀬川 泰知	瀬川 泰知	瀬川 泰知
	南部 篤	吉村 由美子	吉村 由美子	竹村 浩昌	篠北 啓介
	草本 哲郎	草本 哲郎	戸島 あい	戸島 あい	中村 義弘
	大川 純	中村 凜子	中村 凜子	久保田 真人	久保田 真人
	白取 義之	白取 義之			
監事	奥村 久士	奥村 久士	奥村 久士	奥村 久士	奥村 久士
	榎根 一夫	榎根 一夫	榎根 一夫	榎根 一夫	榎根 一夫
	長屋 貴量	長屋 貴量	長屋 貴量	長屋 貴量	長屋 貴量
	山本 友美	山本 友美	橘 苑実	柴田 奈緒	柴田 奈緒
	岸上 悟	戸島 あい	吉友 美樹	吉友 美樹	吉友 美樹
店長	鈴木 隆介	鈴木 隆介	鈴木 隆介	鈴木 隆介	杉浦 甘奈

# 供給高と組合員数の推移

## ●供給高は情報機器を中心とした利用

供給高は校費での情報機器を中心に利用されています。Web見積りサービスなどを通じて、カタログショッピングやカスタマイズパソコンなどを多くご利用いただいております。また2025年よりAmazon Businessとの連携も始まり、ご利用が広がってきています。今後も取扱商品をより広く知っていただく取組みとスムーズな対応を心掛け、機構での研究活動に寄与できるよう運営していきます。

## ●2021年度以降、厳しい経営状況が続いています

2021年度の山手店の無人化に伴う設備投資、2022年度のレジシステムの更新による設備投資、2023年度以降の国内における顕著な物価高騰(仕入条件の悪化や物流コストの増加等)や人件費高騰、2024年度の店舗移設に伴う設備投資などの影響を受け、経常剰余で赤字の状況が続いています。

校費利用を中心としたご利用の結集をはじめ、第2期中期計画(2025-2027)で掲げた経営構造の改革に重点的に取り組み、安定的な経営を確立します。

## ●組合員数は400名前後を維持

2016年度以降400名未満だった組合員数は、2021年度に400名を超え、以降はその規模をおおむね維持することができています(機構の転入出者数の多寡により組合員数も影響を受けています)。生協アプリの利便性や書籍の組合員割引など、加入のメリットを多くの方に感じていただくことが出来ました。

引き続き、「加入をして利用する」という生協の原則に則り、未加入の方への加入促進を進めてまいります。

	供給高 (千円)	経常剰余 (千円)	組合員数 (人)
2001年度	74,568	2,974	394
2002年度	114,144	2,573	428
2003年度	152,946	4,716	452
2004年度	145,360	758	472
2005年度	148,812	1,798	473
2006年度	190,507	5,465	486
2007年度	178,683	4,340	473
2008年度	179,752	3,751	454
2009年度	187,618	5,370	446
2010年度	157,456	1,486	442
2011年度	179,492	6,282	448
2012年度	182,148	6,018	448
2013年度	189,276	131	457
2014年度	192,182	-86	463
2015年度	172,150	-3,035	433
2016年度	162,486	318	393
2017年度	166,835	-1,050	382
2018年度	171,422	2,114	387
2019年度	162,935	975	391
2020年度	151,668	1,129	383
2021年度	170,897	-452	400
2022年度	141,296	-3,688	409
2023年度	151,865	-5,634	402
2024年度	141,414	-8,154	387
2025年度	137,479	-4,639	401

